

アントレプレナーシップ実習「COMMUNITY CAMPUS
愛知県立大学／愛知県立芸術大学 Entrepreneurship Foundation」プログラム、
NAGOYA CONNECT 学生ピッチセッション報告

1. 開催日時: 令和8(2026)年8月 28 日(金)18:30~19:15
2. 会 場: なごのキャンパス&YouTube 配信
3. コメンテーター: 三尾 友貴美 氏(広陽商工株式会社 代表取締役／春日井市イノベーションプロモーター)
小林 亮 氏(株式会社フォレストバンク 代表取締役)

本成果発表会は、2026 年 6 月に愛知県立大学・愛知県立芸術大学の学生を対象に実施したアントレプレナーシップ実習「COMMUNITY CAMPUS」と、岐阜市及び一般社団法人岐阜みらいポータル協会が実施された「COMMUNITY CAMPUS GIFU」の受講生によるピッチセッションとして開催されました。

当日は、介護、高齢者の移動、親子間の見守り、英語学習をテーマとする計 4 件のピッチが行われました。いずれの提案も、発表者自身又は身近な人の経験から課題を見いだし、既存の人材・技術・仕組みを活用しながら、新たな価値の創出を目指す内容でした。

2026 年度アントレプレナーシップ実習「COMMUNITY CAMPUS」
<https://www.aichi-pu.ac.jp/incubation/news/001090.html>

■ 「en.(エン)」: 生存確認機能付き仕送りアプリ(チーム「報連相のおひたし」)

- ・一人暮らしの大学生と、離れて暮らす子どもの健康や生活を心配する親を対象としたアプリです。自身の経験から、親から連絡を受けても、大学生活等で忙しく返信が遅れるという課題に着目しました。
- ・月単位で設定した仕送り額を日割りにし、学生がアプリ上で簡単な感謝メッセージを選択すると、その日の仕送りを受け取れる仕組みです。親は毎日の受取状況を通じ、過度に干渉することなく安否を確認できます。



■ 「ぬきうち Communication」:実践型英語学習プログラム(チーム「See berry」)

- ・英語を学びたいという意欲があっても、日常生活で英語を使う機会が少なく、学習を継続できないという課題に着目した提案です。
- ・利用者が専用の目印を身に着けて街を歩くと、登録済みの英語話者から予告なく英語で話しかけられます。いつ会話が始まるか分からない状況をつくることで、普段から英語を意識し、学習意欲を維持することを狙います。



■ コメンテーターによる講評

- ・社会人からは出てこないアイデアであり、大変面白いと感じました。素晴らしい。
- ・自身又は身近な人が感じている不便や不安を出発点とし、具体的なサービスとして解決しようとする姿勢が見られました。
- ・当初から完成度の高い事業計画を求めるのではなく、まず目の前の利用者に試してもらい、小さな実証と改善を繰り返すことが重要。取組が難しくなった際には周囲へ相談し、協力者を増やしながら進めてほしいです。また、なによりも挑戦の過程を楽しんでください。